



# 【私立入試の心得】



## 1 入試当日までに確認すべきこと

(1) 入試会場の所在地・電話番号・受験番号・進路携帯番号をメモして持参する。

・ **上記の内容は、必ず保護者にも伝えること。**

(2) 集合場所や集合時間の確認をしておく。

原則として30分前に試験会場へ到着できるように計画する。

→受験校内での移動の時間も考慮すること。

万が一に備え、複数の電車の時刻を確認しておくことよい。(例:「7:15 発の次は 7:28 発」)

(3) 持ち物等の確認を、前日の 明るいうちに済ませること。

|   |  |
|---|--|
| 受験票   | <ul style="list-style-type: none"> <li>市邨：受験番号のメモを持参し、入試会場を受験票を受領。</li> <li>万が一忘れた場合は、受験校の先生へ申し出て、指示を受ける。</li> </ul>   |
| 筆記用具  | <ul style="list-style-type: none"> <li>メーカー名以外の文字のないもの。キャラクターものや景品は<b>不可</b>。</li> <li>シャープペンまたは鉛筆を複数本 (HB,B など受験校の指示に従う)</li> <li>プラスチック消しゴム &lt;紙のケースを外して机の上に置く学校もある&gt;</li> <li>鉛筆削りやシャープペンの替えの芯 &lt;机の上に置けない学校もある&gt;</li> <li>定規 (直定規) &lt;定規使用不可の学校もある&gt;</li> </ul>  |
| マスク    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ひもが切れたり、落としたりの心配もあるので、<b>予備のマスク</b>もあると安心。</li> <li>マスクを会場で捨ててはいけません。</li> </ul>  |
| 防寒具   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教室の換気のため、試験中も着用が認められている学校が多い。</li> <li>学校により、「ひざ掛けは使用不可」など、使用できない防寒具が指示されているので、受験校の入試のプリントなどを事前に確認しておくこと。</li> </ul>  |
| 腕時計  | <ul style="list-style-type: none"> <li>正確な時刻に調整し、アラーム音や時報音が鳴らないように設定しておく。</li> <li>腕時計を<b>机の上に置いたまま座席を離れない</b>ように注意する。</li> <li>菅など一部の学校では、教室内で腕時計が使用できないが、会場への行き帰りに現在時刻を知るために持参するとよい。→試験中はかばんの中にしまう。</li> </ul>   |
| 消毒ジェル等  | <ul style="list-style-type: none"> <li>試験会場にも用意されているが、自分でも持参すると安心。</li> </ul>  |
| 上ぐつ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>下ぐつを入れるビニール袋も持参するとよい。</li> <li>中学校にスリッパを置き忘れたら、家にあるものを使う。中学校へ取りに来ない。</li> <li>受験校や試験会場によっては、上ぐつは不要。</li> </ul>  |
| お茶  |  |
| ヘルメット   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車使用者は必須。ヘルメットをかぶったまま電車に乗らないこと。</li> </ul>   |
| 交通費 (マナカ)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>マナカのチャージ額を事前に確認しておくこと。</li> <li>予備の小銭もあると安心。→公衆電話のお金としても使える。</li> </ul>   |
| 受験校から指示されたもの  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校により、<b>弁当</b>が必要。→必要かどうかを確認し、前々日までに保護者に頼んでおく。</li> <li>学校により、「健康チェックシート」に記入して持参する。<br/>→出願時に配布 or 高校 HP やマイページよりダウンロード</li> <li>その他、入試要項等を確認する。</li> </ul>  |
| その他 必要に応じて  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ハンカチ、ティッシュ、薬など<br/>→ポケットティッシュを机の上に置く場合は、学校により外袋から出すように指示されることがある。使用済みのティッシュやマスクを受験校で捨てない。</li> <li>面接の待ち時間に使う読書用の本や、面接のテキスト など・・・</li> </ul>  |

**スマホ・携帯電話の試験場への持ち込みは禁止** 電源 OFF でも原則不可です



(4) **体調の管理も実力**のうち

- ・入試前7日間くらいは、検温とその記録を特に念入りに。
- ・万全の体調で本番をむかえられるようにしよう。

(5) **受験校のHPを毎日閲覧**し、最新の情報を確認する。

- ・TOP ページのほか、「入試情報」「受験生へ」「新着情報」などを確認。
- ・ネット出願の学校は、ログイン後のページや高校からのメールも確認する。

## 2 試験当日

(1) **気持ちよく家を出よう。**

朝ごはんを食べよう。 トイレも済ませてから家を出よう。

入試当日は中学校への登校は不要。 自宅から直接試験会場へ向かう。

(2) **遅刻しないように**

寝坊での遅刻はもってのほか。

待ち合わせ時刻に友達が来なくても、時間になったら1人でも遠慮なく先に出発すること。

電車が混雑しているからといって、やり過ぎさない。(次の電車も混んでいる。遅刻したら意味がない)

(3) **交通機関の遅れがあった場合には落ち着いて**

乗車中の列車が一時動かなくなるなど、入試の集合時刻に間に合いそうもない場合は、下車駅で「遅延(ちえん)証明書」を受け取っておくとよい。

駅の窓口で、「遅延証明書をください」と言えばもらえる。

落ち着いて高校へ向かい、**高校到着時に事情を説明し、高校の指示にしたがう。**

(4) **試験前には、必ずトイレに行っておくこと**

試験中の途中退出を認めていない学校があります。

→トイレに立ち、教室へ戻ってくると、解答用紙が回収されていることがあります。

もちろん、試験中に体調が悪くなった場合は、試験監督の先生へ遠慮なく申し出ること。

(5) **試験は120%の力で、油断せず、あきらめず、最後まで取り組む**

学力試験の成績で合否を判定するのはもちろんですが、頭髪や服装・身なりはどうか、試験中に居眠り zzz をしていないか、問題用紙の余白に落書きをしないかなど、**試験に臨む姿勢をチェック**し、合否の判断材料としている学校もあります。

**受験番号**や**氏名**は、テストの**最初に真剣に書くこと**。



(6) **その他 いろいろ**

①車を高校周辺に停車させない。高校周辺のお店に駐車させない。

②問題の内容についての質問は受け付けられません。

印刷が不鮮明、ページ抜けについてのみ、質問可。

③試験中、受験票は指示された場所に置いて提示しておくこと。

④**万が一忘れ物に気づいても、取りに帰らない。** 高校の先生に伝えて指示を受ける。

⑤入試終了後はすみやかに帰宅する。 中学校へ登校は不要。

試験終了後、“密”を避けるために、時間差をつけて教室を出る指示をする学校があります。

**校内や校門等で、友達を待つことは禁止です。**

緊張も不安も、キミががんばってきた証！ 全力を尽くし、**合格**の喜びを味わおう！

## 【私立】新型コロナウイルス感染症の対応について

★発熱等のかぜ症状がある場合は、あらかじめ医療機関を受診してください。

★医療機関の診断を踏まえ、受験の可否について、中学校へ相談してください。

→できるだけ、入試前日の16時頃までに連絡してください。可能な対応を高校と協議します。

→夜間や早朝の連絡は、進路携帯050-へお願いします。

kita

○次のア～オのいずれかに該当する受験生は、当日の入試を受験することができません。

- |  |
|--|
| <p>ア) 新型コロナウイルス感染症に罹患し、入試日までに医師から治癒したと診断されていない者</p> <p>イ) 保健所から濃厚接触者と特定され、自宅待機の期間にある者(*)</p> <p>ウ) 感染の可能性があるとして、保健所または医療機関の指示によりPCR検査を受け、入試の前日までに陰性と判定されていない者(検査結果が判明していない場合を含む)</p> <p>エ) 在籍する中学校等で感染者が確認され、濃厚接触者でないことを、保健所から確定されていない者</p> <p>オ) 入試当日に37.5℃以上の発熱や、ひどい咳症状等がある者</p> |
|--|

<必要な手続きを中学校を通して行い、追試等の措置をとります。>

書類作成のため、保護者に来校をお願いすることがあります。

(\*) 濃厚接触者に該当し、PCR等の検査結果が陰性であった場合対応は、受験する学校により異なります。

(\*) インフルエンザと判定された場合の対応は、受験する学校により異なります。

○体調不良による別室受験をする場合、公共交通機関(電車、バス、タクシー)の利用せずに来校することを求めている学校もあります。その際は、保護者の自家用車による送迎をお願いすることになります。

○ほとんどの学校で、受験中の保護者控室はありません。

○試験中に体調の異常を感じた場合は、試験監督に申し出て、指示を受けるようにしてください。

○試験中に防寒具の着用が認められている学校がほとんどです。

→防寒具の種類については、各学校の指示にしたがってください。例) ひざ掛けは不可 など

→試験中の防寒具の脱着については、試験監督の指示に従ってください。

○試験途中で体調不良となり、帰宅させることが適当であると受験校が判断した場合、保護者によるお迎えが要請されることがあります。

○休憩時間における他の受験生との接触、会話は極力控えるようにしましょう。

→終了した試験の答え合わせや、次の試験科目の問題の出し合いなどは、不安要素となりうるので、控えた方がよい。

○昼食時や写真との本人確認時を除き、常にマスクを着用してください。

→面接試験時もマスクは着用したままで構いません。

○使用済みのティッシュやマスクは、試験会場で捨てずに、持ち帰るようにします。

○昼食は自席でとり、机を移動させず、部屋の前方を向いて無言で食べるようにします。

コロナ対応は学校ごとに異なります。受験校の文書を参照してください。

受験校のHP、受験校からのメール、web出願のログイン後の画面も確認してください。